

令和7年度 学校給食アンケート 集計結果

京都府木津川市教育委員会
学校教育課

学校給食に関するアンケートについて

実施期間	令和7年6月9日～23日 15日間
実施方法	オンライン又は回答用紙
対象件数	7,756件 ※
回答数	3,220件 (すべてオンライン)

※対象件数は令和7年6月1日時点の児童生徒・園児数です。

■回答数及び回答率

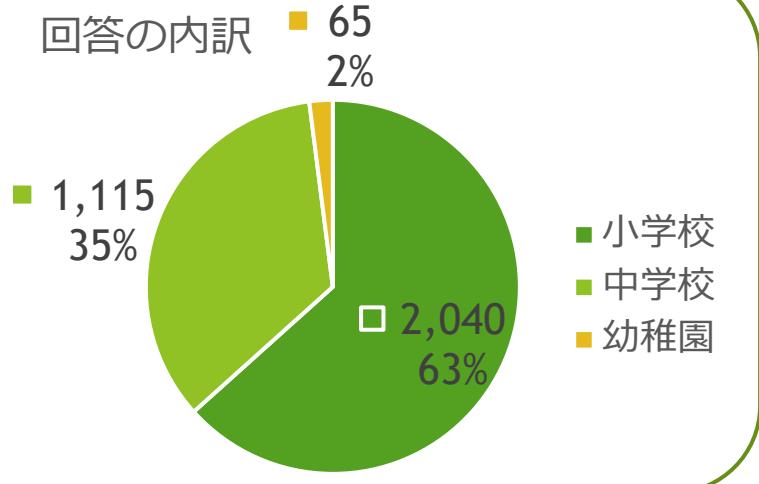
	回答数	児童生徒数	回答率
小学校	2,040件	5,094人	40.05%
中学校	1,115件	2,481人	44.94%
幼稚園	65件	181人	35.91%
総計	3,220件	7,756人	41.52%

※児童生徒・園児数は令和7年6月1日現在

調査項目

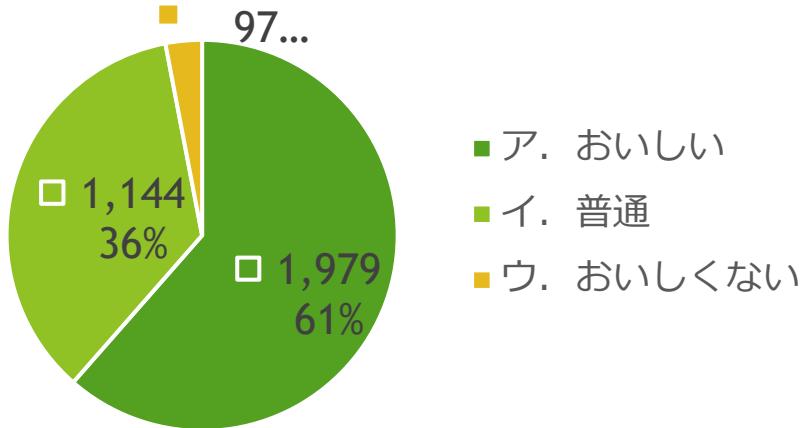
給食満足度	物価高騰対応	補助金
・味	・値上の可否	・継続の要否
・量	・値上額	
・品数		

回答の内訳

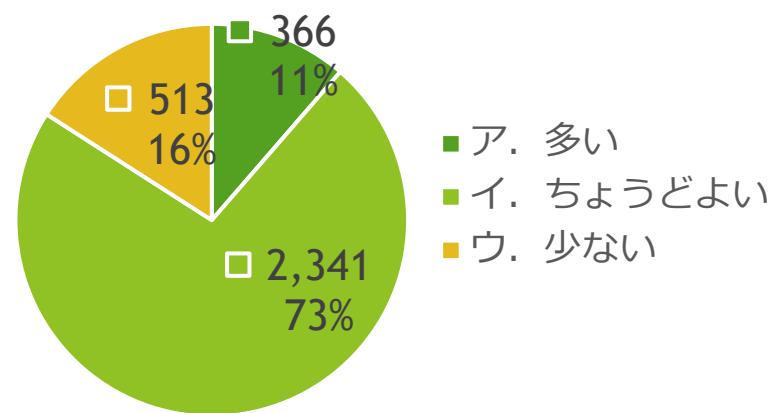


主食について

[味]



[量]



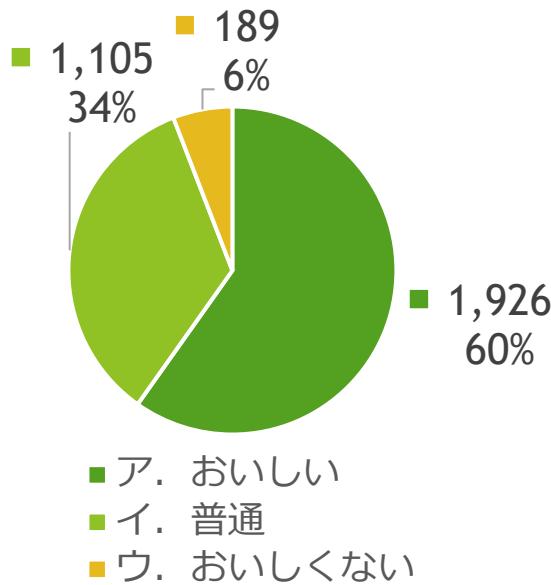
- 主食（米飯・パン）は、全体では61%が「おいしい」と答えています。校種別で見ると、幼稚園76%、小学校66%、中学校52%となっています。
- 量は、全体では73%が「ちょうどよい」と答えています。「ちょうどよい」と答えた割合は、幼稚園で90%、小学校で75%、中学校で68%となっています。
- 中学校では19%が「少ない」と答えており、学年が上がるにつれ「少ない」と感じる割合が増えています。

主食に関するご意見 (769件うちの主なもの)

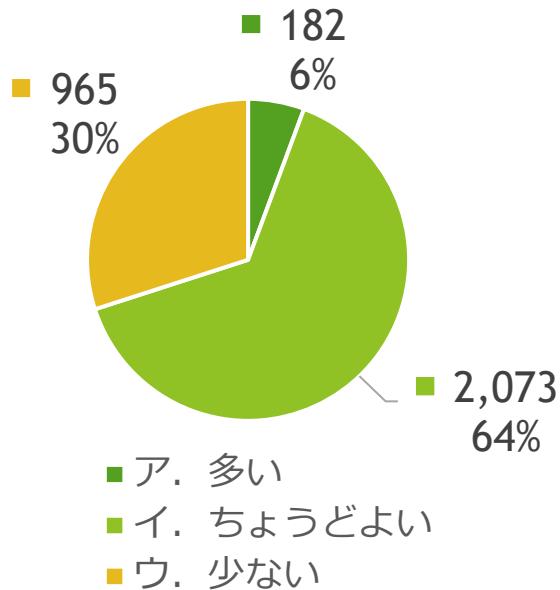
- ▶ 家ではふりかけなどをかけないと食べなかつたのが、給食が始まつてからは「給食みたいに食べる！」と白米におかずで食べてくれるようになった。
- ▶ ご飯もパンもいろいろな種類のものがあり、家ではできないものも多いのでありがたい。
- ▶ 値上してもよいので、米・パン、麺のバランスは今までどおりで良い。
- ▶ 世界の味を取り入れて、海外への関心につなげてほしい。
- ▶ 米・小麦は国産物を使用していただきたい。／安全でおいしい食材を使ってほしい。／米は地元産なので安心できる。このまま継続してほしい。／備蓄米は使わないでほしい。
- ▶ 米は一番子どもの栄養源となるもので、これだけ値上がりしたら値上げはやむを得ないかもしれないが、少なくならないようにしてもらいたい。
- ▶ 米が高いならパンを増やすなどで値上がりばかりを考えるのではなく、対応してほしい。
- ▶ 米不足の観点からも、国産の米であれば十分で、地産地消にこだわる必要はない。パン、麺類よりも腹持ちの良い米の回数をしっかり確保してほしい。
- ▶ 物価高騰で自宅では、必要な栄養面が偏った食事になっていそうなので、給食では栄養面のバランスをとってもらいたい。
- ▶ ご飯にはふりかけなどを付ける機会を増やしてほしい。
- ▶ パンの種類をもう少し増やしてほしい。ワンパターンだと飽きてしまいます。
- ▶ 価格の据え置きは厳しいと考えるが、自己負担額の増加に耐えることにも限度がある。最低限の必要栄養素等の基準を満たしていれば多少の質の低下は致し方ないと考える。
- ▶ 白米が冷めていてまずい。暖かく提供する工夫をしてほしい。お米がべちゃべちゃでおいしくない。
- ▶ パンがぱさぱさでおいしくない。

副食について

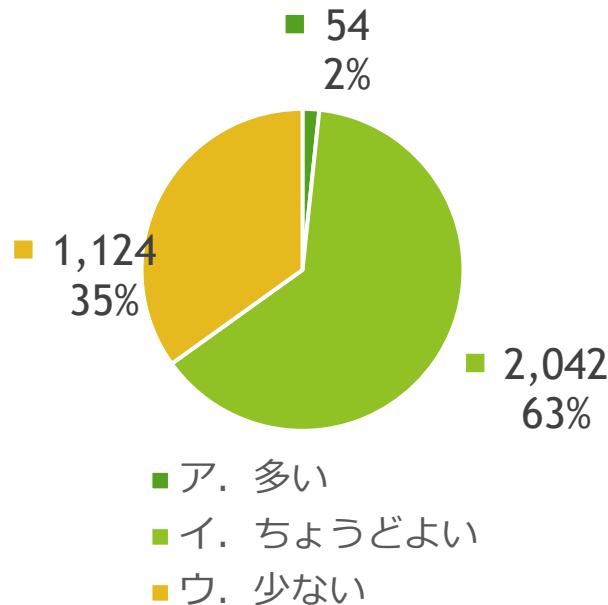
[味]



[量]



[品数]



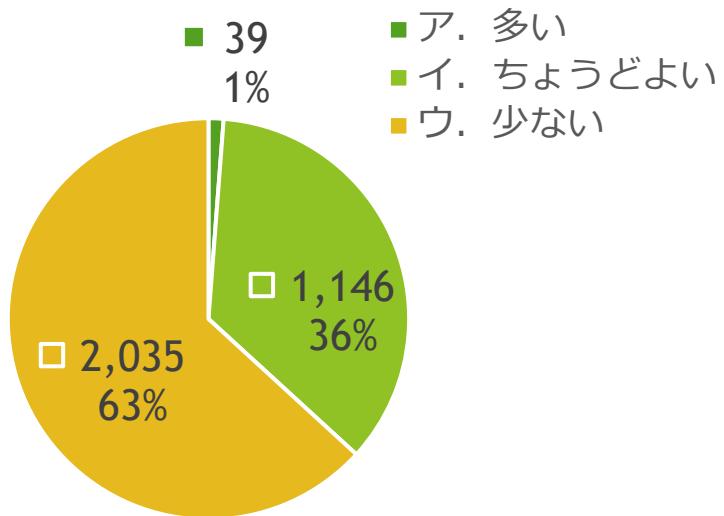
- 副食の味については、94%が「おいしい」又は「普通」と答えています。
- 量については、64%が「ちょうどよい」と答えています。校種別で見ると、幼稚園78%、小学校65%、中学校62%となっており、主食と同じく、学年があがるにつれて「少ない」という意見が増えています。
- 品数については、63%が「ちょうどよい」、35%が「少ない」と答えています。

副食に関するご意見 (809件うちの主なもの)

- ▶ 家では食べない（出てこない）ものが給食で食べられるようになっているので、旬の野菜で工夫していただけるのはうれしい。
- ▶ 給食だと野菜も食べるので、野菜を増やしてほしい。／給食で野菜嫌いが治ってきています。
- ▶ 珍しい外国の料理や、メニューに面白いネーミングがあると、興味がわくようでおいしく頂いています。
- ▶ 地産地消の食材を使って地域活性化のため地元に貢献してほしい。／国産の食材がたくさん使われていて、安心して食べられる。
- ▶ 値上してもよいので、質の良い食材、栄養価の高い食材を使用してほしい。
- ▶ 主食に合わせ、副食の内容を工夫するなど、栄養バランスに配慮した献立をお願いしたい。
- ▶ 食べ盛りの子どもたちが、本当に今の量で栄養カロリーが摂取できているか疑問です。お腹一杯食べたい子たち、食べきれない子たちが両方満足できるような取組があればよいと思う。
- ▶ 品数や量を増やしてほしい。／栄養も必要だが、満足感が味わえる量が欲しい。
- ▶ 汁物が多い気がします。おかずの種類が増えるとうれしい。
- ▶ 肉や魚の量が少ない。／全体的に味が薄すぎる。／副菜が少ないので、主食で腹を満たすしかない。／味が濃い。
- ▶ 梗物に食材の種類が多く使われている印象だが、1人当たり食べられる量は少ないため副菜の品数が増える方が良い。
- ▶ 毎日でなくてよいので、ちくわ、とうふ、どんぶりなどがメインとなる日は、もう一品あってもよいと思う。
- ▶ それぞれの量が減ってもいいので、一汁三菜若しくは一汁二菜に常になるようにしてほしい。
- ▶ 郷土料理は、子どもたちに美味しいと思えるものが少ない。ご当地メニューは、食べ慣れていないせいで食が進まない。
- ▶ 暖かくないので美味しい。アレルギーの子以外もお弁当持参OKにしてほしい。

果物等のデザート類の回数について

〔回数〕



《デザートのメリット》

- ・食後の満足感の向上
- ・栄養補給（糖質であれば、午後からの体や脳の活動をサポートする）
- ・心理的な効果（気持ちを落ちつかせ、リラックス、ストレス軽減につながる場合がある）

- 果物等のデザート類の回数については、36%が「ちょうどよい」、63%が「少ない」となっています。
- 「少ない」と答えたのは、幼稚園42%、小学校63%、中学校64%となっており、小中学生の半数以上が少ないと感じています。

牛乳・果物等のデザート類に関する意見

(798件のうちの主なもの)

- ▶ たまに出して頂くデザートが特別感があり、楽しみにしているので内容、回数ともちょうどいいかと思います。
- ▶ デザートはそんなに要らないと思う。
- ▶ デザートを増やしてあげてほしい。楽しみにしているので。
- ▶ デザートについては現状の頻度で充分と考えます。物価に合わせてデザートの質、量を調整することで対応いただけたとありがたいです。
- ▶ デザートは減多に出ないという事なのですが、だからこそその嬉しさがあると思います。
- ▶ こどもたちは、デザートが大好きですが、デザートは食材費がかさむと思いますので、デザートを減らしておかずを充実させてもらってよいのではと思います。
- ▶ デザートがある日は朝から嬉しそうです。もっと増やしてほしい。
- ▶ デザートがメニューにある回数が他の市町と比べて少ない。
- ▶ 鉄分、カルシウム、ビタミン、ナイアシンなどが含まれるゼリーやヨーグルトがいい（サプリメントのようなプラスの効果があるもの）
- ▶ デザートは明らかに減った。モノも悪い。楽しみが奪われたようで本人たちは悲しんでいる。
- ▶ 牛乳はカルシウムなど子どもの成長に必要ですので、そのまま続けて頂きたいです。他で栄養のバランスが取れているのでしたら、デザートはなくともかまいません。
- ▶ 体に良くないので牛乳はやめてもらいたい。デザートは洋菓子より和菓子、またフルーツを希望します。
- ▶ 牛乳はいらない。家で飲めるしお茶もあるしその分オカズなりデザートに回して欲しい。
- ▶ 牛乳を好まず飲まないこどもが多いときくので、現代の栄養面から考えても必須ではないと思う。
- ▶ 給食にすべての栄養素を求めていないし、好き嫌いの多い牛乳はなくてもいい。デザートよりおかずの費用を。

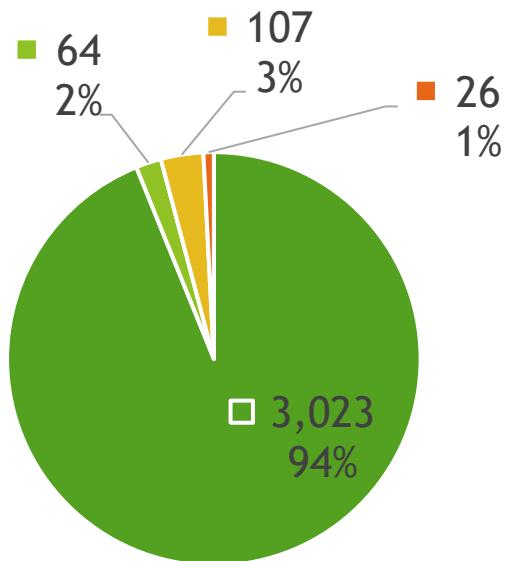
学校給食費物価高騰対応補助金について

■ 1食あたりの市補助金額（令和4年の2学期～）

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
小学校	1食あたり食材費	260円	272円	281円	281円
	うち保護者様負担	240円	240円	240円	240円
	うち市補助	20円	32円	41円	41円
中学校	1食あたり食材費	300円	314円	316円	325円
	うち保護者様負担	270円	270円	270円	270円
	うち市補助	30円	44円	46円	55円
幼稚園	1食あたり食材費	170円	178円	188円	184円
	うち保護者様負担	160円	160円	160円	160円
	うち市補助	10円	18円	28円	24円
補助金総支出額		22,762,660円	49,821,854円	58,074,326円	66,115,000円

※令和4年度2学期から補助実施

※令和7年度は、当初予算計上額



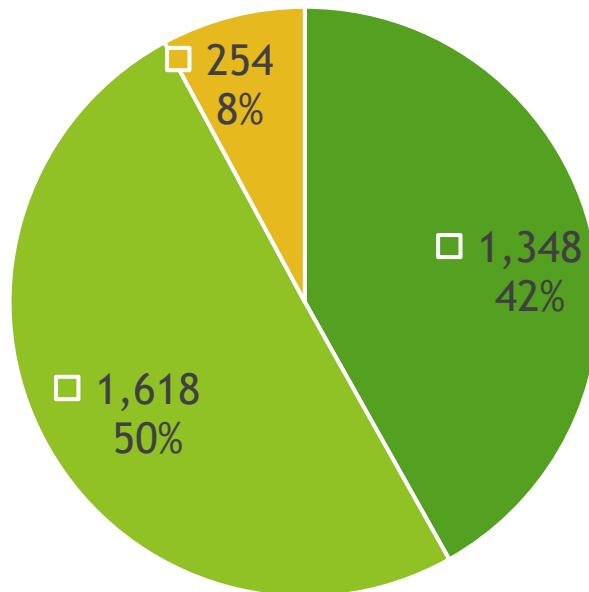
- ア. 市の補助は継続してほしい
- イ. 市の補助はなくても良い
- ウ. わからない
- エ. その他

補助金に関する意見 (778件のうちの主なもの)

- ▶ 補助は大変助かります。しかし物価の値上がりで生活が苦しいのは子育て世帯だけではないので、補助がなくなってしまっても、文句は言えないと思います。給食費は自己負担でかまわない。値上げ歓迎、その分しっかりとした食材の確保、献立立案、人件費等充実してほしい。／補助金がなく、値上がりしてもいいので子どもが喜ぶ給食にしてあげてほしい。／質の担保が最優先で、そのため給食費が上がることは理解している。補助金がなくともかまわない。
- ▶ 本来、給食費は払うことが当たり前だったので、親が子どものために負担するのは当たり前だと思う。金銭面で負担になるところは、所得別で線引きをしてもいいと思う。／給食費は携帯電話に支払う金額を考えれば安いものだと思う。子どもたちの健康を第一に考え、値上げしてもよいので良い給食にしてほしい。
- ▶ 保護者の方でもそれ相当の対応をしていかないと、学校給食自体が立ちいかなくなっていくと思います。多少の値上げはやむ得ない。
- ▶ 学校諸費も毎月値上がりしているため、市補助の継続を希望します。／市の補助額が少なすぎる。／給食費の値上げと共に補助金も増やしていただきたい。
- ▶ 牛乳やデザートがなくなつて構わないので、費用や補助は維持してもらいたい。／少額でもいいので継続してほしい。
- ▶ 子育て支援を謳っているのに、補助金をなくすことは考えられない。／非課税世帯の給食費を減免してほしい。
- ▶ もっと補助していただきたい。今の子どもたちが将来を担うので、食に対してもっと真摯に向き合うべきです。
- ▶ 値上する額を市が負担すべき。
- ▶ 無償化をする市町もあるが、そのために質が落ちるのであれば元も子もないで、質と量の維持に努めもらいたい。／無償化はしないでいいと思う。無償化にすることで質が悪くなってしまっては本末転倒。／世間では無償化と騒いでいる方もいるが、入院時に食事代が掛かるのと同じで、義務教育であっても給食に自己負担が発生するのは当たり前のことでは？
- ▶ 今のご時世、給食費は無料にするのが普通です。／給食無償化を検討してほしい。／全国的に無償化が進んできている中、このタイミングでの価格アップは反対。
- ▶ 本来は自治体ではなく、国がどの地域でも平等に手厚く補助するべきと思う。／国は私立高校授業料無償化をするより先に小中学校の給食無償化に取り組むべき。

給食費の値上げについて（1）

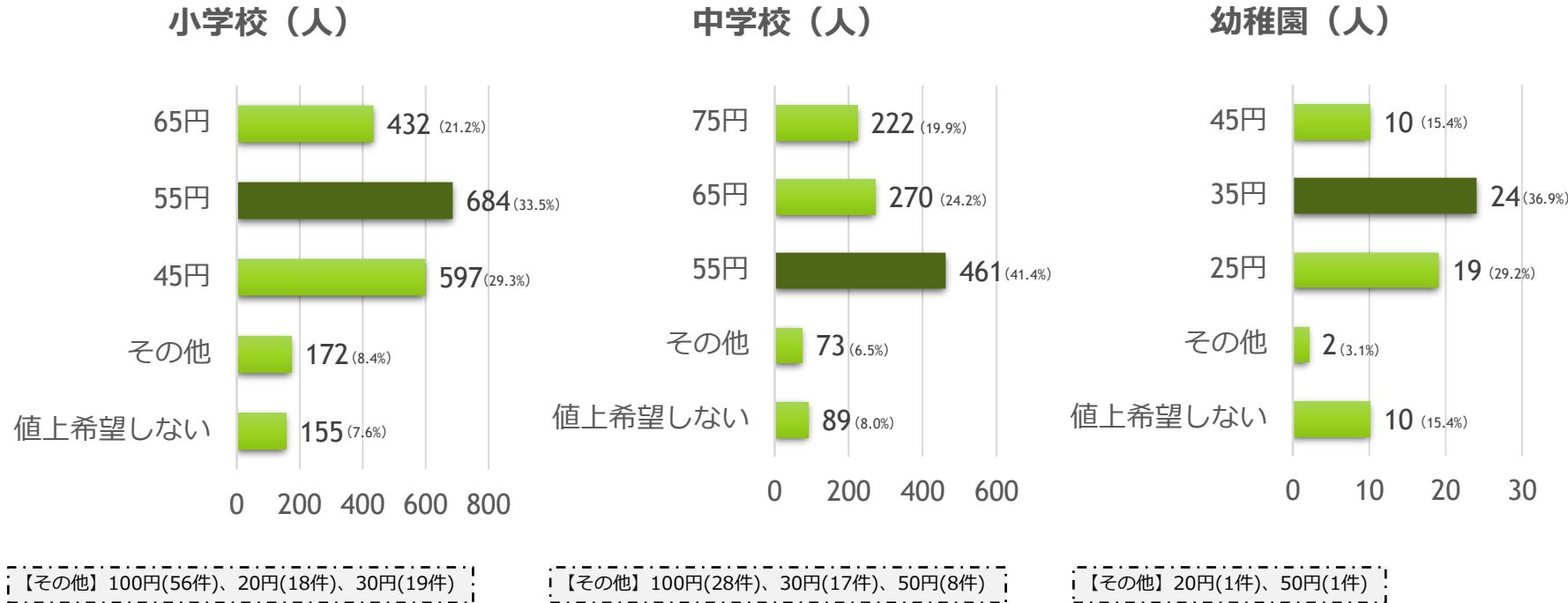
〔全体〕



- ア. 値上げをしてもよいので、質を高め、メニューの幅を増やしてほしい。
- イ. 物価が高騰している現状を踏まえると、値上げもやむを得ない。
- ウ. 質や量を変更して値上げをしないようにしてほしい。

- 全体の92%が値上げに対し、一定の理解を示しています。42%が値上げと共に、給食の質を高め、メニューの幅を増やしてほしいと答えています。
- 一方、「質や量を変更して値上げをしないようにしてほしい」が8%となっています。

給食費の値上げについて（2）



- 1食あたりの妥当な値上額については、小学校では「55円」が33%と最も高く、次いで45円が29%となりました。
- 中学校では、「55円」が41%と最も高く、次いで「65円」が24%となりました。
- 幼稚園では、「35円」が36%と最も高く、次いで「25円」が29%となりました。

その他意見 (606件のうちの主なもの)

- ▶ 学校から帰ると給食が美味しかったと話してくれます。栄養バランスを考え、負担の無い金額で毎日給食を提供していただけることを本当にありがとうございます。これからも今までどおり安心安全な給食を希望しているので、物価高騰による値上げは賛成です。学校生活の中で給食時間はこどもたちの特別な時間になっているので、今よりもっと楽しい時間になるようメニューの考案よろしくお願ひします。
- ▶ 周りを見ても、出汁から料理している家庭はほとんどありません。家庭での調理力、知識の低下、家事時間の短縮、添加物摂取による体の不調や変化、疾病がある現代では、木津川市のような給食はこどもたちには絶対必要です。
- ▶ こどもたちが大きくなった時、小学校の給食は美味しく楽しい思い出になって欲しいと心から願います。
- ▶ アレルギー等の事情で給食を食べていません。毎日の弁当にかかる食費は当然上がっており、元々給食と同じ費用で作るのはかなり難しく、その上上昇率は給食の値上げどころではありません。だからといって、給食を食べるお子さんたちにも値上げしろというのは、おかしな話だと思いますが、これ以上市が負担するのは不公平だと思う。
- ▶ 1年に1回でも、バイキング給食など、いつもと違う給食の形があってもいいと思う。デザートだけでも、前もって数種類から選んで置き、当日、セレクトデザートにすれば、こどもが学校に通うのが楽しみになると思う。
- ▶ 担任の先生によって、きちんと食べきるよう工夫される先生、残しても大丈夫な先生等、給食に対する考え方がバラバラなように思います。／残食が多いと聞いています。高学年や男性教諭など、食べ足りない人の元へ渡る方法があってもよいのではないかでしょうか。
- ▶ 食べきれないものがあった場合、例えば袋に入っているパンやデザート、牛乳等持ち帰れるものは持ち帰らせてほしい。季節的に衛生上難しい場合は仕方がないですが、簡単に残して捨てられることを当たり前にさせたくない。
- ▶ 補助金で賄うのが難しいのであれば、家庭に費用の負担を求める前に国に働き掛けてください。
- ▶ 給食を廃止して弁当持参でもよい。／補助も給食も必要な人が受けたい。むしろ弁当を持っていきたいと思う世帯もいると思う。
- ▶ こんな少ない量のくせに値上とかもってのほか／量などが分からないので、今日の給食の写真が見れたらいいと思う。
- ▶ 今後、給食無償化を言われている中で、このアンケートの意味はあるのでしょうか。

安心安全な学校給食を提供するために

これからも引き続き、給食・食育の充実に努め、安心安全でおいしい給食を安定して提供していくため、次のような取り組みを行っていきます。

■地場産農産物の使用

地場産の安心で安全な食材を使用し、こどもたちの市の自然や文化、産業に対する理解を深め、地域への愛着や、食への関心・食に関わる人々への感謝の気持ちを育てます。

■旬の食材の使用

季節の食材を使用した豊かな献立を工夫します。

■たのしい給食

子どもの日や七夕、クリスマスなどの行事にちなんだ献立て、こどもたちが楽しめる給食を提供します。

■栄養価の確保

学校給食法で定める栄養摂取基準を確保し、こどもたちの成長を支えます。